

◇ 弁護士相談
10月4日(金) 午後1時半～

◇ 社労士相談 } 支部まで
◇ 法人設立相談 } お問い合わせ
◇ 税務記帳相談 } 下さい

※いずれも支部へ電話で予約してください。



発行者
東京土建一般労働組合
村山大和支部
武蔵村山市中央3-7-1
電話 042(563)3261
発行責任者 宮澤 良明

東京土建村山大和支部ホームページ <http://www.murayamayamoto.jp> 東京土建 村山大和支部 検索

決意を持って月間に臨む! 目標70人!!



9月、10月の仲間を増やす行動月間は、全分会が8人の新加入者目標をたてて行動する重要な取り組みとなります。

仲間の仕事とくらしの状況は、物価高騰とともに建設資材の高騰が続き、中小企業では価格転嫁が進んでいません。この現状を変えるために運動を行い、東京土建をアピールし、数を増やす事で大きな組織となり、国や自治体・大手企業などが無視できない組織へと成長します。"数は力"です

成功に向け、仲間からの情報が頼り

月間成功に向けて、仲間のみなさんからの情報が頼りです。

市町村国保が高くて困っている仲間がいる。労災保険に入りたい仲間がいる。組合からの情報が役立つ仲間がいる。イベントなどに誘いたい仲間がいる。

どんな情報でも構いません。身近な分会役員や支部まで情報をお寄せください。

また、この時期は仲間の絆を深めるためにも支部でも分会でも数多くイベントを準備しています。見逃さないようにしっかりと組合からの情報はチェックし、気になる事があれば支部までお問合せください。

2ヵ月間の長丁場となりますが、みんなのちからで目標達成させましょう!!

朝露

9月27日自民党総裁選が行われ、新しい総裁が決定する▼国民の信頼回復の為に改革を実施するなどの候補者も口にして

いる▼政治資金に関する問題特定の宗教団体との癒着等多々問題とされていることに関して根本的な解決、国民を納得させる説明はされていない▼新総裁が決まれば現総裁は衆議院解散を宣言し、衆議院選挙に入る訳である▼当然の事ながら、政権を維持したいのだから総裁を選ぶ事はなかなか難しい事だと思ふ▼時を同じくして、野党最大の立憲民主党に於いても代表者選が行われ、新しい代表者が決まる▼当然の事、解散総選挙をならんでの選択となるであろうが、こちらも難しいようである▼直接、私達には関係ない、代表者選びではあるが、その後の衆院選は大いに関係がある▼衆院選の結果はいいでは与野党がひっくり返る事もある▼だからこそ、この総裁選、代表者選については注目してもらい、後の衆院選の選挙基準にして欲しいものである。(バカボンの親父)

8月の労災事故件数

村山大和支部における労災事故件数は、職人1件、一人親方4件、事業主1件でした。

災害状況

- 転落・墜落... 1件
- 飛来・落下... 1件
- 切れ・こすれ 1件
- 動作の反動 2件
- その他 1件

労災事故には保険証が使用できません。未加入者に声をかけ、労災保険の加入を呼びかけましょう!



先月から始まった東京都へのハガキ要請行動は誰でも参加できる運動の入り口です。

東京土建のメリットを自分たちで守り、作り出すために一枚でも多くのご協力をねがいます。

ハガキ要請行動

今月も引き続き東京都への要請

例文はこちら

都の補助金、全額確保をお願いします。

東京都武蔵村山市 中央3-7-1 村山 太郎

建設国保の都補助、削らないでください。

東京都武蔵村山市 中央3-7-1 村山 太郎

令和6年度 全国労働衛生週間

今年で第75回を迎える、全国労働衛生週間は、労働者の健康管理や職場環境の改善など、労働衛生に関する国民の意識を高め、職場での自主的な活動を促して労働者の健康を確保することを目的に毎年実施します。

10月1日～7日が本週間で、9月1日～30日が準備期間となります。

今年度は、「推してましますみんな笑顔の健康職場」をスローガンとし、労働者や事業主が一丸となって健康管理を進め、労働者の心と体の健康が確保された職場の実現を目標に進めていくものです。

組合に加入されている事業主のみならず、9月は準備期間となりますので、職場における労働者の安全と健康を確保することも、快適な職場環境の形成と促進に努めて下さい。そのために、必要な資格、免許や技能講習、特別教育の取得などが必要があれば東京土建にご相談下さい。また、今年度従業員さんの健康診断がまだの際は、12月に開催される集団健康診断もご利用下さい。



私の青春 No.350

大和南分会 宿谷 正樹 (建具)



私の人生は、43年前青梅市で生まれ、産まれてすぐ泣き声がなく、息をしていなかった所から始まりです。

小学3年生には、自然と右耳が聞こえなくなり、小学6年生には、左目を失明し手術で少し回復しましたが、その10年後...次は、右目が失明し、また手術...

現在、右目の視力回復はしましたが、右耳は聞こえないまま生活しています。

これからも楽しく!!

そのような身体での生い立ちは、15歳から群馬県のあるホテルで板前修業。18歳から、ヨーロッパドイツにて寿司懐石料理店で働き、27歳から建設業界に転職し、2023年8月、個人事業主として独立しました。

現在、43歳。今まで出会った人達に感謝の気持ちを忘れずにも建設業界に少しでも貢献出来るよう今、私と共に歩んでくれている人たちを大切に、これからも、楽しく生きていくことが、私のこれからの青春です。

生きていく限り青春です。



参加報告

原水爆禁止2024世界大会

8月4日～6日の日程で広島にて開催された原水爆禁止世界大会へは仲間の皆様より19万9167円のカンパをいただき、堀川隆徳さん(大和南)、吉田重男さん(野山北)を組合の代表として送り出す事ができました。ご協力いただきました皆様ありがとうございました。代表のお二人からの報告と感想を掲載します。

原水爆禁止2024

世界大会広島に参加して

吉田 重男

7月30日東大和中央公民館で行われた団結式において、東大和の団長に指名され8月4日からの原水爆禁止世界大会に参加してきました。

大会一日目は県立総合体育館・グリーンアリーナ1階来賓席の後ろステージ真ん中に席が取れました。登壇者の顔がハッキリ見える場所でした。全国を歩いた代表数十人が平和を守る為、歩きながらの声掛けに

共同訓練を頻繁にやる事が怖い等、平和を訴える声が多く聞かれました。1日目が終了し、堀川さんと2人でホテルに戻り平和記念公園資料館に落ちた市街地の荒れ果てた写真と亡くなった相当数の名簿を見て悲惨で涙が出て来ました。川沿いの原爆ドームを遠くに見ながら、本当に惨い建物だと、絶対に二度とあってはいけない事と思いました。

2日目、分科会に堀川さんと第5分会NO戦争！STOP大軍拡！まもうろ平和・くらし！に参加しました。全体では約200人の参加。分科会では、埋め止め用土砂の運搬配送中に抗議中の市民と警備員を巻き込んだ勇ましい事故の話があり、辺野古新基地早期完全中止訴えた内容でした。

また、日本の3メガバンクが、それぞれ1兆円以上核兵器生産企業に融資している事を初めて聞きました。金融機関に投融資をやめるように働き掛けるために、銀行に行って「私のお金を核兵器の為に使わないで」と、声掛けをお願いをしていくことに、凄く考えた后感動しました。他にも、外国から日本は広島と長崎2度も核兵器の恐怖を経験しているのに条約に署名しているのは何故かと問いかけられていることに、日本は回答するべきであり岸田総理

また、日本の3メガバンクに大いに責任があると本当にそう思いました。各国代表が平和を目指していく話を真面目に聞き、心を動かされ自分も行動に力を入れようと思いました。最終日、式典は警備が厳しく参加できずにグリーンアリーナ参加となりましたが、参加者たちと平和に向けての話で大いに盛り上がりました。団長の役も余り出来ませんでした。今回のこの経験と学習が身になるよう、また、みなさんに伝える事ができればと思います。



原水爆禁止世界大会に

参加して思った事

堀川 隆徳

米軍が広島に原爆を投下してから79年が経ちました。焼け野原となり、人が住めなくなってしまう、がれきと死体、そして苦しんで

いる人々…もう二度と戦争のない世の中にしていかなくては。そのためにも「原水爆禁止運動」を大きな声を上げていく事が大切だと思います。

分科会に参加して、ロシアとウクライナ、イスラエルとハマスの戦争はどうなるのか意見を交わしました。世の中が今より厳しくなるのではないかと、先が見えないとの意見が多かった事と、カザフスタン公使参事官の意見で、ロシアは信用できない国と言っていた事が心に残りました。

また、東日本大震災で災害を受けた人の話では原発事故により2万6千人が自宅から避難して住むところがなくなり、生活もできなくなり、人々がバラバラに



なり苦しんでいる事を、政府はわかっているのだろうかと考えさせられてしまっ

た。日本が原発、核兵器の危険と必要性を世界に訴えていかねばと思えました。今回、大会に参加させてい

この度本部『平和共同取材』学習会に参加しました。

私は「満蒙開拓」の言葉は知っていてもその実態は知りませんでした。第一部のDVDでは国策として開拓団が組織された背景は世界恐慌による経済の破綻、人口増加等で1936年に全国の県・町村・部落迄に宣伝、入植者に土地二十町歩を与える募集し約27万人が喜んで、又義勇軍として15歳から18歳までの少年8600がお国の為と笑顔でソ連、満州国境に送りこまれました。

に預ける人など、涙なしには聞けない苦勞話でした。そして皆さん様に戦争は絶対にしてはいけない、平和でなければと話されました。三沢亜紀事務局長からは長野県が3万3千人もの開拓団に参加している背景、現地住民の暴徒化の背景。1972年田中・周恩来首脳会談で国交回復後1981年残留孤児、残留婦人の帰国が行われても中国養父母の問題、偏見差別、言葉の問題等に悩む事になると話されました。国は甘い言葉でソ連・満国境の防衛の為に開拓団を募り国民を見捨てた。もつと言え

『平和共同取材』

学習会に参加して

教宣部 進藤 藤男

ソ連・満州国境警備の目的もあり、土地は安く買い上げ、その労働力として現地の人を使った。これが後に悲劇となりました。そして1945年2月ヤルタ会談の密約でソ連軍が8月参戦で開拓団の悲劇が始まりました。関東軍は男性4700人根こそぎ動員、後に残された女性・子供約22万人の悲劇の逃避行が始まりました。第二部のDVDでは体験者の「語り部さん」の証言でした。関東軍は当てにならず、ただただ逃げまどい、やもえず子供を現地の人

ば国民を遺棄したと強く思いました。最後に戦争は絶対に行けない、戦争で軍隊は国民を守らない。沖縄がその例を示しています。(写真II 満蒙開拓記念館より)

